

注意報第2号

各関係機関団体の長
各病虫害防除員
農業資材販売等関係者 } 殿

福岡県病虫害防除所長

平成18年度病虫害発生予察注意報第2号について

このことについて、病虫害発生予察注意報第2号を発表したので送付します。

ナシ

- 1 病虫害名：黒星病
- 2 発生地域：県下全域
- 3 発生予想：多い
- 4 注意報の根拠
 - (1) 5月2半旬の定点調査結果は、次のとおりである。

発病葉率	0.4%	(平年：0.4%、前年：0.1%)
発生ほ場率(発病葉)	33.3%	(平年：16.8%、前年：28.6%)
発病果率	1.5%	(平年：0.7%、前年：0.3%)
発生ほ場率(発病果)	53.3%	(平年：14.3%、前年：7.1%)
 - (2) 各地の園地で発生が見られており、特に中山間地域での発生が多い。
 - (3) 福岡管区气象台5月5日付け発表の1ヶ月予報では、平年に比べ曇りや雨の日が多く、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多いと予想されている。
今後、降雨が続くと発生が助長され、多発する恐れがある。
- 5 防除上注意すべき事項
 - (1) 発病葉や果実は発生源となるので、見つけ次第取り除き焼却または埋没する。
 - (2) 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連用を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。
 - (3) 防除薬剤は「平成18年度果樹病虫害防除の手引き」及び「福岡県ナシ防除マニュアル」を参照し、農薬安全使用基準(適用農薬、処理濃度、使用時期・回数)を遵守する。
 - (4) 薬剤の散布に当たっては、風向きや防除圧等に注意すると共に、飛散の少ないノズルを使用し極力風の無い時に実施する等周辺作物への飛散防止の徹底を図る。